

株式会社 JVCケンウッド

2025年3月19日

**JVCブランドの海外市場向けD-ILAプロジェクター
「DLA-NZ700」「DLA-NZ500」が
「iF DESIGN AWARD 2025」のプロダクト分野で受賞**

株式会社JVCケンウッドは、国際的に権威のあるデザインアワード「iF DESIGN AWARD 2025」において、JVCブランドより海外市場向けに商品展開しているD-ILAプロジェクターの最新モデル「DLA-NZ700」「DLA-NZ500」がプロダクト分野で受賞しましたので、お知らせします。



<「iF DESIGN AWARD 2025」プロダクト分野 受賞の概要>

■ D-ILAプロジェクター「DLA-NZ700」「DLA-NZ500」について

D-ILAプロジェクター「DLA-NZ700」「DLA-NZ500」は、JVCブランドより海外市場向けに商品展開しているネイティブ4K対応プロジェクターの最新モデルです。光学ユニット、レンズ、回路基板などの設計をゼロから見直して本体を小型化し、ネイティブ4K対応プロジェクターとして世界最小※サイズを実現。新設計となる大口径80mmのフル電動4Kレンズの搭載により、広いシフト範囲の確保と短焦点化も実現。4K高解像度を忠実に再現するとともに、設置の自由度も高めました。さらに当社独自のレーザー光源技術「BLU-Escent」を搭載し、「DLA-NZ700」では2,300lm、「DLA-NZ500」では2,000lmの高輝度と、約20,000時間の光源寿命を両立しています。また、「DLA-NZ700」は、さらなる黒の表現力を追求した、当社独自の第三世代0.69型ネイティブ4K「D-ILA」デバイスを搭載し、ネイティブコントラスト80,000:1を実現しています。

※ネイティブ4Kデバイス搭載のプロジェクターとして。（2025年3月19日、当社調べ）



<「DLA-NZ700」/「DLA-NZ500」>



<「DLA-NZ500」>

■ 受賞商品のデザインコンセプトについて

ホームシアタープロジェクターには、ユーザーのライフスタイルや住環境に合わせて、ラックマウントや天吊りなどの取り付け方法への対応が求められます。そのため、ユーザーにとって設置の柔軟性の高さが大きなメリットになると考え、さらなるコンパクト化を実現しつつ、機能美も両立したデザインを目指しました。前・後方はラウンド形状としており、前方は吸気を意識し、後方はラックマウント時の排気熱に配慮した前後対称なシルエットを採用することにより、空間を圧迫しないたたずまいとしました。また、シンボリックなシンメトリーデザインにより高画質への期待感と光の方向を明快に表現し、機能美を追求したシンプルな造形で、時代に左右されないロングライフデザインを実現しています。



<天面イメージ>



<前面イメージ>



<後面イメージ>

<「iF DESIGN AWARD」について>

「iF DESIGN AWARD」は、ドイツを拠点とする世界で最も歴史を持つ独立したデザイン団体であるiF International Forum Design GmbHが主催し、1954年以来、国際的に認知されているデザイン賞の一つです。同賞は「プロダクト」「パッケージ」「コミュニケーション」「建築」など9分野で構成されており、「Idea」「Form」「Function」「Differentiation」「Sustainability」の5つの基準により審査されます。2025年度は66の国と地域から約11,000点の応募があり、著名なデザイン専門家による厳正な審査を経て各賞が決定されました。

・「iF DESIGN AWARD 2025」公式サイト「DLA-NZ700」「DLA-NZ500」受賞紹介ページ】：

<https://ifdesign.com/en/winner-ranking/project/jvc-d-ila-projector-dla-nz700dla-nz500/692175>

<商標について>

- ・「D-ILA」「BLU-Escent」は株式会社JVCケンウッドの商標または登録商標です。
- ・その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。

本資料の内容は発表時のものです。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

www.jvckenwood.com